

	従業者向け	放課後等デイサービス評価表
--	-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	・応援を呼ぶなど考えてくれていると思います。 ・退職されたお二人がいた為、充足は必要と考えます。 ・足りない分はヘルプを頼んだりタイミーを活用しているが、土曜祝日勤務可能な職員の補充が必要だと思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・ドアの部分など、車椅子が通りづらい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・基本的には良いと思いますが、もう少し床など身体をのなせる水ベースを作っても良いかなとおもいます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・静養スペースがあるので個別対応が必要な時には利用することもあります。
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年に2回親子活動を計画し、座談会を行うことにより府警と話す機会を設けている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・面談を行ってくれるなど、相談しやすい環境だと思っています。 ・年に2回面談、月に1回白根会議、日々朝礼、昼礼、終礼を行い、情報共有、報告、検討の場を設けている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・このような機会があるのか知らないため、評価が難しいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・1年を通して色々な研修があるので良いと思います。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・アンケートをとったり、会議で情報を得たりすることで計画に反映してくれています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・アンケートをとったり、会議で情報を得たりすることで計画に反映してくれています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・日々、子供たちの支援に対する話しをしていると思うので良いと思います。 ・ケース会議を行い、担当者が中心となり職員全体で検討しています。

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・ケース記録に綴ってあるので各自見て確認できるようにしている。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・報酬改定後、記録様式の変更とガイドラインに沿った計画を立てています。研修に行ったり、本を読むなど知識を習得したり、職員間でケース会議や朝礼などで個別にどのように支援していったらよいかを相談検討して計画に反映させています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・係の方がしっかり計画してくれているので良いと思います。 ・日々の活動、年開業時などを踏まえ、ガイドラインに沿って計画を立て、職員会議で報告、検討を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・係の方がしっかり計画してくれているので良いと思います。 ・季節の行事などを入れて工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個々に合わせた活動内容を考えて計画を作成し、支援をしていけるようにケース会議などで共有しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼、昼礼、終礼を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・朝礼、昼礼、終礼を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・HUGや連絡帳の活用をしています。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・施設内では半年に1回、ケース会議を行い、日々の振り返りや計画の見直しを行っています。また、他の関係機関とも3ヶ月から6ヶ月に1回担当者会議があるので参加して情報共有を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・個別活動時には、遊びを自分で選べるように促したり、製作活動、音楽活動など活動を通して自分で選ぶことや自分でしたいことなどの医師を汲み取って決めて支援に活かせるようにしています。
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・小規模の事業所なので、児発管、サビ管も日々、直接支援をさせて頂いているのでご利用児の状況は理解できていると思います。また、医療的ケア児の担当者会議には、看護師も参加させて頂いています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		

の 連 携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・送迎時に学校とは、引継ぎを行っています。子どものP下校時間については学校からの連絡はなく、父兄から連絡を頂き、その時間に合わせて学校に迎えに行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・担当者会議などに参加し情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・移行支援会議に参加し、情報共有を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・日々忙しいながらも行ける時には行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・今後、仕事に取り入れたらと思います。 ・なかなか機会はないが、感染症対策をとりながら行いたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・南アルプス市からは連絡などないので参加したことはないです。

保 護 者 へ の 説 明 等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・HUGや連絡帳また、直接会話したりLINEでのやり取りも良くしていると思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・今後、県や市から届くメールの中に参加可能な研修があれば周知していきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・直声つお話しをさせて頂いたり、個別支援計画作成のアンケートを依頼し、意向など記入して頂いたものを反映しています。また、日々の様子から個々の支援を検討しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・計画書をお渡しする際に、ご説明させて頂き、サインを頂いています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・相談や悩みなどある時には家族支援として、事業所に来ていただいております。必要時には児発管だけでなく、看護師などにも話に入ってもらい、お話しをする機会を設けていただいております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・年に2回、親子活動の機会を設けている。兄弟の参加はほぼないが、父兄間での交流の機会にはなっており、父兄からもこのような甲斐を続けて欲しいと希望もあるので続けていきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・近年、苦情はありませんが過去にあった時には事業所に来て下さったので管理者が対応し、施設長の報告。その後、職員異も周知し改善策の話合いや検討など行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・日曜日以外P行事があれば、参加できたらと思います。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をとりながら今後お香ことができればよいと思う。 ・コロナ禍以降、地域との交流はないのですが、今後はそのような機会を作れたら良いと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは作成してファイルに綴じているが、今後、ご父兄には親子活動参加時などの機会に自由に見て頂いたりする機会を作りたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回避難訓練を行っています。職員が医療的ケア児の災害への備えの研修に参加しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、食物アレルギーの子どもはいないが子どもがいれば、医師の指示書を確認することが大事である。
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・施設内で虐待研修を行っています。毎年、交代で職員と管理者2名が虐待研修に参加し、職員全体に会議で共有しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は行ったことはないが、もし行う場合は事前に十分に説明する必要がある。

従業員向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・その日の情緒遊戯数に対して応援を呼んだりするなど無理のない配置を考えてくれていると思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・ドア部分など車イスで通りづらい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・基本的には良いと思っていますがもう少し床など身体を伸ばせるスペースを作っても良いかなと思います。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・このよう機会があるかわからないので。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		
----	---	---	--	--

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・係の方が関わってやってくれているので自分はやっていません。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・知識がある方立ちで計画してくれているのかなと思っています。 ・季節の行事などを入れて工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		1日(日)のスケジュールがハッキリしているので動きやすいです。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

連携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	・日々忙しいながらも行ける時には行っている。
保護者への説明等	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	1	5	・なかなか機会がないが感染対策を取りながら行いたい。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同上で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・年に2回親子交流会を行っている。今後も続けていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・感染対策をとりながら今後行うことができればよいと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・今のところ、食物アレルギーの子どもはいないが子どもがいれば、医師の指示書を確認することが大事である。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	・身体拘束は行ったことはないが、もし行う場合は事前に十分に説明する必要がある。